



# 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月3日

上場会社名 兼松株式会社

(コード番号：8020 東証・大証各第1部)

(URL <http://www.kanematsu.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 三輪 徳泰

問合せ先責任者 役職名 主計部長 氏名 作山 信好 TEL (03) 5440-8979

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結(新規)14社(除外)1社 持分法(新規)2社(除外)4社

④当第3四半期及び前第3四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

## 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	773,648	17.7	11,587	1.6	9,712	14.9	△ 21,100	—
17年3月期第3四半期	657,280	9.5	11,399	31.9	8,456	50.1	2,568	574.0
(参考)17年3月期	886,876		15,762		11,720		2,469	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	△ 51 18	—
17年3月期第3四半期	6 93	—
(参考)17年3月期	6 52	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

当第3四半期の世界経済は、堅調な米国景気と依然として高い成長を続ける中国経済が牽引役となり拡大を持続しました。日本経済も輸出依存から設備投資、個人消費といった内需型に切り替わり、確かな回復路線へと転換いたしました。

こうした中、当第3四半期の売上高は、価格高騰にともなうエネルギー事業での増加や、旺盛な設備投資の影響を受けた工作機械関連、好調な個人消費に支えられたモバイル関連ビジネスが高い伸びを示し、前年同期比1,163億円増加の7,736億円となりました。

売上高の増加にともない、売上総利益も増加しましたが、新規に連結適用したIT関連子会社の営業収益の計上が期末に集中するなどの季節要因から、営業利益は116億円と前年同期比2億円の増加にとどまりました。しかしながら、受取配当金の増加や持分法投資損益の改善等によって、経常利益は97億円と前年同期比12億円の増益となりました。特別損益は、昨年11月1日に発表のとおり、増益基調が確認されたことから、減損会計の導入を機に来期以降の業績に弾みをつけるべく、今期一挙に損失処理をいたしましたので、前年同期比で大幅なマイナスとなりました。その結果、当第3四半期の純損益は211億円の損失となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	579,454	28,396	4.9	67.98
17年3月期第3四半期	510,259	36,857	7.2	90.88
(参考) 17年3月期	520,118	38,029	7.3	93.74

当第3四半期末の総資産は、有形固定資産の減損や特定事業債権に対する貸倒引当金の積み増しによって固定資産が減少しましたが、M&A等による事業領域の拡大によって営業資産が大幅に増加したため、5,795億円と前期末に比べ594億円の増加となりました。

有利子負債につきましては、引き続き圧縮方針としておりますが、買収による営業資金の増加があったため、ネット有利子負債は2,613億円と前期末に比べ3億円の減少にとどまりました。

自己資本は、損失の一括処理により純損失となったことから、利益剰余金が159億円のマイナスとなりましたが、円安・株高の影響で、その他有価証券評価差額金ならびに為替換算調整勘定が改善したため、284億円となりました。その結果、自己資本比率4.9%、ネットDER9.2倍となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

経済環境は引き続き堅調さを持続するものと予想され、通期業績予想は当第3四半期の延長線上で推移するものと思われまます。当第3四半期から新規連結適用した会社の影響もありますので、平成18年3月期の連結業績予想は下記のとおりといたします。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,050,000	14,500	△ 20,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） △ 48円51銭

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。従いまして、実際の業績につきましては、今後の様々な状況変化により、記載の見通しとは大きく異なる可能性がありますことにご留意下さい。

# 連結損益計算書

兼松株式会社

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		増 減		(参 考) 前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	773,648	100	657,280	100	116,368	17.7	886,876	100
II 売上原価	716,977	92.67	606,424	92.26	110,553	18.2	818,734	92.32
売上総利益	56,671	7.33	50,855	7.74	5,816	11.4	68,142	7.68
III 販売費及び一般管理費	45,083	5.83	39,456	6.00	5,627	14.3	52,380	5.90
営業利益	11,587	1.50	11,399	1.74	188	1.6	15,762	1.78
IV 営業外収益								
1 受取利息	717		949		△ 232		1,031	
2 受取配当金	1,678		825		853		851	
3 持分法による投資利益	1,009		572		437		853	
4 その他	1,406		996		410		1,601	
営業外収益計	4,812	0.62	3,343	0.51	1,469	43.9	4,337	0.49
V 営業外費用								
1 支払利息	5,955		5,218		737		6,700	
2 その他	731		1,068		△ 337		1,678	
営業外費用計	6,686	0.86	6,286	0.96	400	6.4	8,379	0.95
経常利益	9,712	1.26	8,456	1.29	1,256	14.9	11,720	1.32
VI 特別利益								
1 有形固定資産等売却益	302		41		261		42	
2 投資有価証券売却益	1,418		322		1,096		1,680	
3 貸倒引当金戻入益	740		72		668		771	
4 債務保証損失引当金戻入益	-		-		-		3	
5 事業譲渡益	1,370		-		1,370		-	
特別利益計	3,832	0.49	435	0.06	3,397	780.9	2,497	0.28
VII 特別損失								
1 有形固定資産等処分損	60		476		△ 416		1,253	
2 減損損失	14,532		-		14,532		-	
3 投資有価証券売却損	57		1,047		△ 990		1,219	
4 投資有価証券評価損	2,187		172		2,015		233	
5 関係会社等事業整理損	489		322		167		1,038	
6 関係会社等貸倒引当金繰入額	1,662		345		1,317		3,000	
7 特定事業債権貸倒引当金繰入額	11,918		-		11,918		-	
8 債務保証損失引当金繰入額	496		493		3		977	
9 退職給付会計基準変更時差異償却額	-		1,241		△ 1,241		1,658	
特別損失計	31,404	4.06	4,098	0.62	27,306	666.3	9,381	1.05
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は四半期純損失(△)	△17,859	△2.31	4,794	0.73	△22,653	-	4,836	0.55
法人税、住民税及び事業税	1,678	0.22	1,701	0.26	△ 23	△ 1.4	1,861	0.21
法人税等調整額	439	0.05	130	0.02	309	237.7	72	0.01
少数株主利益	1,122	0.15	394	0.06	728	184.8	432	0.05
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△)	△21,100	△2.73	2,568	0.39	△23,668	-	2,469	0.28

# 連結貸借対照表

兼松株式会社

(単位：百万円)

資産の部				負債、少数株主持分及び資本の部			
科 目	当第3 四半期末 (平成17年 12月末)	前連結会計 年度末 (平成17年 3月末)	増 減	科 目	当第3 四半期末 (平成17年 12月末)	前連結会計 年度末 (平成17年 3月末)	増 減
<b>I 流動資産</b>				<b>I 流動負債</b>			
1 現金及び預金	43,709	49,256	△ 5,547	1 支払手形及び買掛金	172,892	124,284	48,608
2 受取手形及び売掛金	206,640	148,551	58,089	2 短期借入金	111,072	99,484	11,588
3 有価証券	0	0	-	3 未払法人税等	1,154	807	347
4 たな卸資産	87,682	71,172	16,510	4 繰延税金負債	0	7	△ 7
5 繰延税金資産	7,955	7,074	881	5 その他	37,667	27,846	9,821
6 短期貸付金	11,373	8,014	3,359	流動負債合計	322,787	252,430	70,357
7 その他	37,933	36,080	1,853	<b>II 固定負債</b>			
貸倒引当金	△ 1,677	△ 2,202	525	1 長期借入金	193,981	211,332	△ 17,351
流動資産合計	393,617	317,946	75,671	2 繰延税金負債	1,080	573	507
<b>II 固定資産</b>				3 退職給付引当金	7,612	5,961	1,651
1 有形固定資産	57,664	69,395	△ 11,731	4 債務保証損失引当金	2,654	1,965	689
2 無形固定資産	4,162	2,784	1,378	5 その他	7,747	7,453	294
3 投資その他の資産				固定負債合計	213,076	227,285	△ 14,209
(1) 投資有価証券	83,154	71,670	11,484	負債合計	535,863	479,715	56,148
(2) 長期貸付金	20,668	22,609	△ 1,941				
(3) 固定化営業債権	33,765	36,051	△ 2,286	少数株主持分	15,194	2,373	12,821
(4) 繰延税金資産	15,004	19,281	△ 4,277	<b>I 資本金</b>	27,700	27,501	199
(5) その他	11,777	8,979	2,798	<b>II 資本剰余金</b>	27,559	26,037	1,522
貸倒引当金	△ 40,364	△ 28,618	△ 11,746	<b>III 利益剰余金</b>	△ 15,929	5,392	△ 21,321
投資その他の資産計	124,005	129,973	△ 5,968	<b>IV 土地再評価差額金</b>	58	58	-
固定資産合計	185,832	202,153	△ 16,321	<b>V その他有価証券評価差額金</b>	7,487	1,694	5,793
<b>III 繰延資産</b>				<b>VI 為替換算調整勘定</b>	△ 17,890	△ 21,504	3,614
1 新株予約権発行費	4	18	△ 14	<b>VII 自己株式</b>	△ 588	△ 1,149	561
繰延資産合計	4	18	△ 14	資本合計	28,396	38,029	△ 9,633
資産合計	579,454	520,118	59,336	負債、少数株主持分 及び資本合計	579,454	520,118	59,336

# セグメント情報

兼松株式会社

## 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	I T	食料	鉄鋼・プラント	ライセンス・エネルギー	繊維	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	207,283	138,915	167,896	207,789	40,414	11,348	773,648	—	773,648
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	1	122	48	—	100	306	(306)	—
計	207,317	138,917	168,019	207,838	40,414	11,448	773,955	(306)	773,648
営業費用	205,217	138,287	162,317	205,994	40,059	10,523	762,400	(339)	762,061
営業利益	2,100	629	5,701	1,843	354	924	11,554	33	11,587

前第3四半期（自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	I T	食料	鉄鋼・プラント	ライセンス・エネルギー	繊維	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	185,633	104,852	158,448	162,143	42,209	3,992	657,280	—	657,280
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	30	49	86	—	85	281	(281)	—
計	185,662	104,882	158,498	162,230	42,209	4,078	657,562	(281)	657,280
営業費用	183,264	103,312	153,979	160,814	41,415	3,379	646,165	(284)	645,880
営業利益	2,397	1,570	4,519	1,416	793	699	11,396	3	11,399

前連結会計年度（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	I T	食料	鉄鋼・プラント	ライセンス・エネルギー	繊維	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	249,125	134,357	219,830	220,427	57,926	5,209	886,876	—	886,876
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	31	167	136	—	124	504	(504)	—
計	249,170	134,388	219,997	220,564	57,926	5,333	887,381	(504)	886,876
営業費用	245,557	132,677	213,554	218,686	56,739	4,398	871,613	(498)	871,114
営業利益	3,612	1,711	6,443	1,877	1,187	935	15,768	(6)	15,762

平成18年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト

売上高・売上総利益・営業利益・経常利益いずれも前年同期比増加

- ・売上高は7,736億円で前年同期比17.7%(1,163億円)の増収
- ・売上総利益は売上高増加に伴い前年同期比11.4%(58億円)の増益
- ・営業利益は、システム開発投資や新規連結適用会社の影響で販管費率が上昇し、前年同期比1.6%(2億円)の微増
- ・経常利益は受取配当金の増加や持分法投資損益の改善等により97億円と、前年同期比14.9%(145億円)の増益
- ・当期純利益は、昨年11月1日発表のとおり、完全復活のための最終地固めをすべく損失処理を一挙に行ったことにより、211億円の損失

収益の状況	(単位:億円)										
	平成17年3月期		平成18年3月期			前年同期比		平成18年3月期見直し(H18.2.3公表)			主な増減要因
	中間期	第1~第3四半期累計	中間期	第3四半期	第1~第3四半期累計	増減額	増減率	進捗率			
売上高	4,324	6,573	4,677	3,059	7,736	1,163	17.7%	10,500	73.7%	<p>【売上高・売上総利益】モバイル、工作機械、エネルギーの好調に加え、新規連結適用会社の影響もあり増加。</p> <p>【営業利益】システム開発投資や新規連結適用会社の影響で販管費率が上昇し、営業利益は微増。</p> <p>【経常利益】受取配当金の増加や持分法投資損益の改善等により増益。</p> <p>【当期純利益】完全復活のための最終地固めをすべく減損計上や貸倒引当金の積増し等の大幅損失処理を行ったことにより211億円の損失。</p>	
売上総利益	340	509	352	215	567	58	11.4%	—	—		
売上総利益率	7.9%	7.7%	7.5%	7.0%	7.3%	△0.4%	—	—	—		
販売費及び一般管理費	262	395	272	179	451	56	14.3%	—	—		
営業利益	78	114	80	36	116	2	1.6%	—	—		
営業外収益	22	33	23	25	48	15	43.9%	—	—		
営業外費用	44	63	44	23	67	4	6.4%	—	—		
経常利益	57	85	59	38	97	12	14.9%	145	67.0%		
特別利益	3	4	23	15	38	34	780.9%	—	—		
特別損失	33	41	309	5	314	273	666.3%	—	—		
税金等調整前当期純損益	28	48	△227	48	△179	△227	—	—	—		
当期純損益	15	26	△242	31	△211	△237	—	△200	—		

事業別セグメント情報	(単位:億円)									
	売上高				営業利益				主な増減要因	
	平成17年3月期	平成18年3月期	前年同期比		平成17年3月期	平成18年3月期	前年同期比			
第1~第3四半期累計	第1~第3四半期累計	増減額	増減率	第1~第3四半期累計	第1~第3四半期累計	増減額	増減率			
I T	1,857	2,073	216	11.7%	24	21	△3	△12.7%	<p>【I T】モバイルや半導体製造装置関連が好調に推移し増収となったが、新規連結適用の兼松エレクトロニクスやメモレックス・テレックス等の収益計上が期末に集中するため、第3Qは振るわず減益。通期でキャッチアップする見込み。</p> <p>【食料】畜水産は仕入れ値の高騰や円安の影響で売上高増となるも、価格転嫁が進まず苦戦し減益。</p> <p>【鉄鋼・プラント】鉄鋼は米国での石油および天然ガス採掘用パイプ取引が引続き好調、プラントも子会社での工作機械取引が好調を続け、増収増益。</p> <p>【ライフサイエンス・エネルギー】エネルギーは、寒波の影響で石油製品の需要が高まり、増収増益。</p> <p>【繊維】新規事業取組に伴う先行投資等により減益。</p>	
食料	1,049	1,389	340	32.5%	16	6	△10	△60.4%		
鉄鋼	904	932	28	3.0%	38	41	3	6.2%		
プラント	681	748	67	10.0%	7	16	9	138.2%		
鉄鋼・プラント	1,585	1,680	95	6.0%	45	57	12	25.8%		
エネルギー	1,384	1,864	480	34.7%	8	14	6	65.3%		
ライフサイエンス	238	214	△24	△10.0%	6	4	△2	△25.3%		
ライフサイエンス・エネルギー	1,622	2,078	456	28.1%	14	18	4	28.1%		
繊維	422	404	△18	△4.3%	8	3	△5	△61.8%		
その他・消去	38	112	74	193.3%	7	11	4	52.3%		
合計	6,573	7,736	1,163	17.7%	114	116	2	1.6%		

資産・負債および資本の状況	(単位:億円)				主な増減要因
	平成17年3月末	平成17年12月末	平成17年3月末比	増減率	
総資産	5,201	5,795	594	11.4%	<p>【総資産】資産内容の見直しにより固定資産が減少したが、M&amp;A等による事業領域拡大により営業資産が大幅に増加し、前期末比594億円増加。</p> <p>【自己資本】利益剰余金がマイナスとなったが、円安・株高の影響でその他有価証券評価差額金ならびに為替換算調整勘定が改善した結果284億円。</p>
ネット有利子負債	2,616	2,613	△3	△0.1%	
自己資本	380	284	△96	△25.3%	
自己資本比率	7.3%	4.9%	△2.4%	—	
ネットDER(倍)	6.9	9.2	2.3	—	